

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

平成31年第2回（3月）定例会

- 1 榑 沢 諭
- 2 宮 澤 一 照
- 3 堀 川 義 徳
- 4 岩 崎 芳 昭
- 5 山 川 香 一
- 6 渡 辺 幹 衛
- 7 霜 鳥 榮 之
- 8 高 田 保 則

予算総括質疑通告要旨

平成31年第2回（3月）定例会

1 樗 沢 論

1 職員能力開発事業について

- 1) 階層別研修、派遣研修、人材マネジメント研究会への参加について、内容と期待する効果はどのようなか。
- 2) 「はねうま運動」のステップアップが必要である。職員意識改革の新たな内容はどのようなか。
- 3) 職員能力向上、人材育成につながる人事評価制度の内容はどのようなか。

2 情報化推進事業に関連して

- 1) 日常的業務の実績時間の管理、適正な職員配置と業務配分管理はどのようなか。
- 2) 業務プロセスの見直しによる生産性の向上の目標値はどのようなか。
- 3) 自動化技術による業務効率化検証業務委託の内容はどのようなか。
- 4) RPAソフトの導入の先進自治体の効果をどのように認識しているか。当市の業務効果はどのようなか。
- 5) RPAソフトの導入の対象業務、削減時間等の生産性向上の効果はどのようなか。

3 犯罪のないまちづくり推進事業について

- 1) 妙高警察署管内の刑法犯の発生件数と主な内容はどのようなか。
- 2) 妙高警察署管内の振り込め詐欺被害の件数と被害額、通話録音装置の対応策はどのようなか。
- 3) 子どもや高齢者の見守り活動について、青色回転灯パトロールや110ばん協力車の防犯パトロールの実施状況はどのようなか。
- 4) 消費生活・多重債務相談や弁護士無料相談の相談件数と内容はどのようなか。
- 5) 市民総合相談室の相談件数と内容はどのようなか。

4 健康保養地づくり推進事業について

- 1) 妙高型健康保養地プログラムの市民向け、市外来訪者の実績と平成 31 年度の取り組み内容はどのようなか。
- 2) 健康保養地プログラムの実施基盤の整備について、案内看板、ロコモチェック用ベンチの設置により、どのような効果を見込んでいるか。
- 3) 健康保養地づくり推進事業について、生涯学習課と健康保険課、DMOとの連携や役割分担はどのようなか。
- 4) 温泉や食材、景観などの妙高の地域資源を活用した健康づくり推進の医学的なエビデンス（証拠）の確立はどのようなか。
- 5) 日本クアオルト協議会への参画効果はどのようなか。

5 住宅取得等支援事業について

- 1) 住宅取得等支援事業の近年の利用者数、転入世帯数や転入者数はどのようなか。
- 2) 住宅取得支援の新築住宅と中古住宅の補助件数はどのようなか。
- 3) 事業目的の転入者の増加、人口流出の抑制効果と地域経済効果はどのようなか。

6 妙高ふるさと暮らし応援事業について

- 1) 空き家の登録件数、利用希望登録人数、成約数はどのようなか。
- 2) ひとり親家庭の移住定住、空き家見学ツアーの実績と課題はどのようなか。
- 3) 定住促進通学費貸与制度の内容はどのようなか。また、どのような効果を見込んでいるか。
- 4) 移住支援事業補助金制度の内容はどのようなか。また、どのような効果を見込んでいるか。

2 宮澤 一 照

1 地球環境保全地域活動推進事業について

再生可能エネルギー、新エネルギーの導入に向けた支援とあるが、事業の具体的な取り組み内容はどのようなか。

2 都市と農村交流推進事業について

教育体験旅行の誘致や、ハートランド妙高周辺の花畑整備、地域活性化施設周辺の遊歩道整備について、具体的な取り組み内容はどのようなか。

3 妙高版DMO地域経営推進事業について

- 1) インバウンド誘客推進のため専門員を配置とあるが、業務内容はどのようなか。
- 2) 誘客宣伝事業の推進にあたり、事務局体制の強化はどのようなか。
- 3) 顧客管理システム（CRM）について、登録者数の状況はどのようなか。
- 4) 妙高ノートの作成や管理についてはどのようなか。
- 5) 観光協会が解散し、DMOへの影響や変化はどのようなか。

4 スマートIC整備事業について

妙高サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置推進に向けた取り組み内容はどのようなか。

3 堀川義徳

1 総合計画等評価・策定事業について

- 1) 第2次総合計画の評価はどのようなか。
- 2) 第3次総合計画に市民や地域力創造アドバイザーの意見をどのように反映させるのか。

2 地域づくり応援事業について

- 1) 地域づくり協働センターの設置目的はどのようなか。
- 2) 地域支援員の役割と体制はどのようなか。

3 道の駅あらい整備事業について

- 1) 農業振興施設等の運営方法はどのようなか。
- 2) 現在の道の駅の直売所との関係はどのようなか。

4 学校給食運営・食育推進事業について

給食主食代無償化の内容と今後はどのようなか。

5 コミュニティ・スクール推進事業について
大規模校における内容と問題はどのようなか。

4 岩崎芳昭

1 総合計画等評価・策定事業について

- 1) 雇用創出の現況はどのようなか。
- 2) 少子化対策について
 - ① 結婚、出産、子育てといったライフステージに応じた特色ある施策の評価と今後の対応はどのようなか。
 - ② 子育て支援の充実や世代間の支え合いの仕組みづくりはどのようなか。
- 3) 「まちなかの賑わい創出や交流人口を増やす施設や仕組みの整備」など、多くの人々が行きたくなる、住みたくなる新しい人の流れをつくる現況はどのようなか。
- 4) 「関係人口」の創出について、現状とこれからの取り組みはどのようなか。

2 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 市全体の一般廃棄物の排出量と市民1人・1日当たりのごみ排出量の推移はどのようなか。
- 2) 市のごみ処理施設に搬入される事業系ごみの実態はどのようなか。
- 3) ごみ減量・資源化の取り組みについて
 - ① 焼却ごみの減量目標を設定すべきではないか。
 - ② 循環型社会形成に向け、日常的に使われている「3R運動」に「レンタル」、「リフォーム」を加えた「5R運動」への展開を図り、焼却処理や埋め立てごみを無くしていこうとする理念・行動を高めるべきではないか。
 - ③ 学校教育や出前講座等を通じた環境教育による「ごみの減量や資源化」の取り組みはどのようなか。
 - ④ 各家庭で取り組んでいるごみ減量などのアイデアを募集してはどうか。

3 霊園維持管理事業について

- 1) 市営霊園の永代使用状況と使用可能な区画数の状況はどのようなか。
- 2) 多様な埋葬形態や個人墓地の永代管理など、市民のニーズに対応するための方策をどのように検討しているか。

4 子どもの健康づくり事業について

- 1) 子どもの視力について、市内の小・中学校、認定こども園・保育園の実態はどのようなか。
- 2) 市の対応と対策はどのようなか。

5 山 川 香 一

1 「妙高市民の心」推進事業について

「妙高市民の心」の一層の普及・定着を図るために具体的にどのような取り組みを進めるのか。

2 アートステージ妙高推進事業について

芸術文化活動を市内外へ発信し、交流人口等を拡大するための環境づくりをどのように進めるのか。

3 妙高歴史遺産活用推進事業について

歴史文化資源の公開や活用を通して、どのように地域の活性化を図るのか。また、歴史文化資源の保護をどのように進めるのか。

4 スポーツタウンづくり推進事業について

スポーツを通じた子どもの運動やジュニアスポーツの推進に向けた取り組みはどのようなか。

6 渡 辺 幹 衛

1 職員管理事業について

- 1) 必要な職員数は配置されているか。
- 2) 職員のメンタルケアの現状はどのようなか。
- 3) 人事評価制度の現状と課題をどのように把握しているか。

2 地方創生推進事業に関連して

これまでのまちづくりの評価は。今後まちづくりをどのように進めるのか。

3 入札制度検討事業について

- 1) 低価格落札の状況はどのようなか。
- 2) 最低制限価格の設定の留意点をどのように考えているか。
- 3) 積算基準が妥当ならば、それ以下での入札はどこかにしわ寄せをしなければ成り立たない。どこで調整されていると考えているか。
- 4) 最低制限価格は、人件費を最大 97%として算定するというが、作業員まで効果が及んでいるか。
- 5) 公契約条例の制定を改めて求めたいがどうか。

4 農道等適正管理事業に関連して

矢代山溜池の位置づけと管理上の問題点はどのようなか。

5 子どもの健康づくり事業について

- 1) 市内の小・中学校、認定こども園・保育園における、今冬のインフルエンザの状況はどのようなか。
- 2) インフルエンザの「完治証明書」の扱いはどのようなか。

6 ガス上下水道事業に関連して

- 1) ライフライン確保の行政の責任をどのように捉えているか。
- 2) 汚泥の最終処分状況はどのようなか。
- 3) 妙高高原給水区域の水道料金が新井給水区域に統一される。また、妙高高原地域と妙高地域の下水道・農業集落排水使用料が新井地域へ統一されるが、今後の料金設定の配慮はどのようなか。

7 霜鳥榮之

1 就労支援事業について

- 1) 地域人材育成支援のこれまでの実態とそれを踏まえた努力目標はどのようなか。
- 2) 高校生資格取得支援助成のこれまでの実績、地元企業との連携等はどのようなか。
- 3) 就職情報メルマガと地域実態との関係で、就職実態の現状とその改善策についての考えはどのようなか。

2 鳥獣対策事業について

- 1) イノシシやニホンジカの増加状況はどのようなか。
- 2) 平成 35 年度までに生息数半減を目標に取り組みを進めているが、新年度の新たな方策はどのようなか。
- 3) 認定鳥獣捕獲事業者制度についてはどのように考えるか。

3 市民主体の健康づくり事業・食育推進事業について

- 1) 食生活推進事業の地域での活動実態はどのようなか。
- 2) 健康づくりリーダーの職務の実態はどのようなか。

4 住まいのリフォーム促進事業について

補助事業の関係で、工事完了の期限が 1 月 31 日とのことだが、雪国の実態を踏まえたなかで弾力的な対応が必要と思うがどのようなか。

5 地球環境保全地域活動推進事業について

- 1) 住宅用太陽光発電システム設置の補助について内容はどのようなか。
- 2) 新たな再生可能エネルギーの調査研究の地熱発電について内容はどのようなか。
- 3) 地下水位観測、データ解析について実態はどのようなか。

6 4 月末からの 10 連休の対応について

現在国民的な課題となっている。この 10 連休は市民生活に大きな影響を及ぼし、大きな関心事となっている。市民生活に関係する施設、サービスの対応等についての考えはどのようなか。

- 1) 医療関係についてはどのようなか。
- 2) 福祉関係、高齢者関係の対応についてはどのようなか。
- 3) 観光や環境問題を含めたイベント等の考えはどのようなか。

8 高田保則

1 生命地域妙高環境会議事業について

- 1) 入域料の徴収に関連して
 - ① 入域料が充当されるライチョウの保護対策の具体的な内容はどのようなか。また、クラウドファンディングが充当される保護対策はどのようなか。

② ライチョウの保護対策として徴収された入域料が充当される登山道整備について、ライチョウ保護と矛盾しないか、見解はどのようなか。

③ 平成 31 度の入域料の取り組み等はどのようなか。

2) 環境サポーターズの現状と今後の活用はどのようなか。

2 鳥獣対策事業について

1) グリーンシーズンのイノシシ対策が不十分ではないか。鳥獣対策専門委員を増員してはどうか。

2) くくり罠による捕獲の拡大のため、捕獲要員、鳥獣被害対策実施隊の増員はどのようなか。

3 全国高等学校総合体育大会スキー大会開催事業について

国体の実施を踏まえ、アルペン競技、クロスカントリー競技の反省点とインターハイに向けての改善点はどのようなか。

4 特色ある教育活動支援事業について

郷土愛の醸成につながる活動の支援について、現状と課題、今後の取り組みはどのようなか。